

## 街路樹シンポジウム

# 『2020 東京を契機にした 街路樹管理の刷新：抑制から樹冠拡大へ』

公益財団法人都市防災美化協会主催の街路樹シンポジウムが2017年11月2日滝野川会館大ホールにて開催されました。

当日は、約500名近い参加者が日本全国からお集まりいただき大盛況のうちに終了致しました。

造園CPD認定プログラム 4単位

街路樹シンポジウム

## 『2020 東京を契機にした 街路樹管理の刷新：抑制から樹冠拡大へ』

街路樹の緑陰・防災機能強化と樹冠拡大の必要性、  
樹冠抑制の実態・背景・問題、  
樹冠最大化自治体の知恵：仙台、宇部、豊橋、江戸川区、田園調布、  
樹冠拡大の管理体制と技術：街路樹担当者、発注制度、技術者

日時 2017年11月2日（木）

13:00（12:40開場）～

場所 滝野川会館（東京都北区）

大ホール

参加費 無料（要申込、先着500名）

\*参加者全員に下記報告書のCDを差し上げます。  
\*先着80名様は、平成29年刊行の報告書  
「防災機能強化と都市美化のための道路緑化の  
あり方に関する調査・研究」を進呈致します。

講演 13:00～

『街路樹シンポジウムの趣旨』

藤井英二郎（千葉大学名誉教授）

『仙台市の街路樹の樹冠維持と管理体制』

遠藤進（仙台市宮城野副区長兼建設部長）

『名古屋市街路樹の樹冠維持と管理体制』

今西良共（名古屋市緑政土木局緑地部長）

『江戸川区の街路樹管理体制』

海老澤清也（江戸川区土木部水と緑の課）

『東京都街路樹の樹冠拡大方策』

土居裕子（東京都公園緑地部計画課 課長代理）

『樹冠拡大技術と街路樹剪定士』

大場二郎（株式会社大場造園）

討論 15:30～

コーディネーター：

町田誠（国土交通省都市局公園緑地・景観課長）



お問い合わせ先

吉岡賢人 吉岡緑地株式会社

kento\_yoshioka@yahoo.co.jp

和田幸子 公益財団法人都市防災美化協会

bo-bikajimu@cosmos.ocn.ne.jp

主催（公財）都市防災美化協会

後援 国土交通省（予定）、（一社）街路樹診断協会、（一社）日本造園修景協会、  
（一社）日本造園建設業協会、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会、（一社）日本樹木医会、  
全国一級造園施工管理技士の会、（一社）東京都造園緑化業協会、（一社）埼玉県造園業協会、  
（公社）日本造園学会、NPO法人樹の生命を守る会、都市のみどり研究会



満席に近いシンポジウム会場

最初に、中島宏理事長より主催者挨拶が行われました。続いて

◆シンポジウムの趣旨説明

藤井 英二郎氏（千葉大学名誉教授）



趣旨の説明をする藤井英二郎教授



中島宏理事長 主催者挨拶

高層ビル・コンクリート構造物の増加、緑地の減少

⇒ヒートアイランドの激化＋温暖化、熱中症死亡者の急増

⇒街路樹の緑陰・防災機能強化と樹冠拡大の必要性

樹冠抑制の実態：

- ・ 広い歩車道でも強選定⇒樹勢悪化・腐朽
- ・ 建築限界下の枝による交通傷害、彦ばえ・胴吹きによる視距障害

強剪定の背景：

- ・ 約3年に1回の剪定で従前の樹形を維持しようとする管理

- ・落ち葉に対する苦情対応で落葉前に剪定
- ・越境枝・遮蔽枝の過剰な剪定

#### 樹冠最大化自治体の知恵：

仙台市、名古屋市、江戸川区、田園調布、宇部市、豊橋市、

#### 樹冠拡大に向けた管理体制と技術：

街路樹担当者  
発注制度  
技術者

引き続き各氏による講演が行われました。

#### 【講演】

##### ◆仙台市の街路樹の樹冠維持と管理体制

遠藤 進氏（仙台市宮城野区役所 副区長兼建設部長）

- ・仙台空襲により焼失してしまった街から復興した街路樹
- ・現状及び課題について
- ・街路樹管理の方針
- ・杜の都のシンボルを継承していくために  
更なる工夫改善で問題を解決していきたい



遠藤 進氏(仙台市)



今西 良共氏（名古屋市）

##### ◆名古屋市における街路樹の樹冠維持と管理体制

今西 良共氏（名古屋市緑政土木局緑地部長）

- ・名古屋市における街路樹整備の経緯
- ・名古屋市における街路樹の現状
- ・名古屋市における街路樹管理の課題

- ・適切な維持管理に向けて
- ・今後に向けて～街路樹の再生～

##### ◆江戸川区の街路樹管理体制

海老沢 清也氏

（江戸川区土木部水とみどりの課整備係）

- ・江戸川区の概要
- ・街路樹の諸元
- ・江戸川区の街路樹事業
- ・「街路樹管理委託」によるあらたな管理手法
- ・緑のボランティア
- ・三者の連携（住民、行政、造園事業者）



海老沢 清也氏（江戸川区）

## 東京都街路樹の樹冠拡大方策

土居 裕子氏（東京都建設局公園緑地部計画課課長代理）道路緑化計画担当

- ・東京 2020 年大会に向けて夏の暑さを和らげ、歩行者や観覧者の安全性を確保することが求められる。
- ・道路の街路樹管理の組織
- ・都内の街路樹本数
- ・道路における街路樹の維持管理
- ・街路樹の樹冠拡大にむけて



土居 裕子氏（東京都）

## 樹冠拡大技術と街路樹剪定士

大場 二郎氏（(株)大場造園代表取締役副社長）

- ・街路樹剪定士について
- ・街路樹剪定士とは
- ・街路樹剪定士指導員実技講師は全国 12 名
- ・街路樹剪定士指導員とは、
- ・街路樹の機能と役割の再認識について
- ・樹形悪化の要因は
- ・美しい街路樹をつくるには
- ・街路樹剪定士指導員・街路樹剪定士の約割
- ・今後、正しい剪定技術の向上と事故撲滅を目指す

休憩を挟んでパネルディスカッションを行いました。

## パネルディスカッション

コーディネーター 町田 誠氏（国土交通省都市局公園緑地・景観課長）

街路樹を取り巻く社会環境等

- ① 日照に関する苦情
- ② 落葉に関する苦情
- ③ 虫害に関する苦情
- ④ 鳥害に関する苦情
- ⑤ 枝葉で信号、標識、看板等が見えなくなる
- ⑥ 根上りにより歩道が盛り上がる（不陸）、家が壊される
- ⑦ 倒木、枯れ枝の落下の恐れ
- ⑧ 電線、電話線等の架空線との干渉
- ⑨ 道路の建築限界線を超える枝葉の伸張
- ⑩ 予算不足・人出不足

これらの環境の中、素晴らしい街路樹を維持管理

していくには、今後の方策について、活発な意見が交わされました。





ご出席いただいたパネラーの皆様



会場からも多くの意見や質問があり、関心の高さが感じられました。

最後に藤井教授から総括がありました。

**総括** 藤井英二郎氏（千葉大学名誉教授）

**(1) 都市環境の変化と街路樹の樹冠拡大の必要性**

⇒都市の高層化、市街地拡大・緑地減少

⇒ヒートアイランドの激化。2020 東京オリンピック・パラリンピック開催

⇒ヒートアイランドの緩和。防災機能強化の必要性増大

⇒街路樹の拡大 2020 を契機とした街路樹管理の転換

## (2) 強い樹冠抑制が繰り返される背景と対応

- 道路管理予算減少  
⇒3年に一回の剪定⇒樹冠拡大出来ている江戸川区の管理費は都内で平均的  
⇒現行予算でも樹冠拡大可能
- 落葉に対する苦情対応で落葉前に剪定  
⇒落葉受忍義務（中野区条例）⇒苦情を吸収・整理出来る地域社会
- 越境枝・遮蔽枝の過剰な剪定  
⇒当該枝のみの枝抜き剪定と切り詰め・切り返し剪定

## (3) 歩車道幅員に合わせた樹冠拡大

- 歩車道の広い道路  
⇒建築限界以下の枝を付け根で切除して、樹冠拡大⇒樹冠が大きくなる樹種を選択
- 歩道狭く・片側2車線以上の道路  
⇒建築限界以下の枝は付け根で切除、歩道側は抑制剪定、車道側は樹冠拡大
- 歩道狭く・片側1車線の道路  
⇒建築限界以下の枝は付け根で切除、歩道側・車道側とも抑制剪定

## (4) 樹冠拡大街路樹の管理技術

- 建築限界・支障枝剪定⇒当該枝のみ付け根から切除
- 抑制剪定樹木の樹冠拡大⇒従前の切り口から伸びた枝と同吹きを選んで伸ばす
- 抑制剪定⇒枝抜き剪定
- 高所作業車とツリークライミングによる剪定
- 根域確保⇒樹冠拡大に伴う根量増加に伴って値上がり徴候があれば、土壌の膨軟化植え柵の植樹帯（連続柵）化

## (5) 街路樹管理体制

- 管理予算  
⇒現状予算でも樹冠拡大が可能⇒効果を評価してもらってから問題解決の予算要求
- 管理のあり方  
⇒道路植栽の一括・年間発注⇒高木・低木・草本の一括・年間管理
- 管理委託のあり方  
⇒道路植栽管理の一貫性・継続性確保、同一業者による複数年管理⇒プロポーザル方式、総合評価方式  
⇒街路ごとの維持管理計画書作成⇒発注者による計画書に従う剪定の徹底

最後まで、パネラーの方々及びご参加いただきましたの方々による熱い討論が行われました。時間内でお応え出来なかった質問（52件）につきましては、藤井先生始めパネラーの方々の丁寧な回答を頂き、後日ご案内いたしました。【「ご質問に対する回答」参照】質問の多さやその内容からも参加者の熱意と関心の高さが理解されました。このシンポジウムが今後の街路樹管理の方策のきっかけとなり、樹冠拡大に向けて実践されていく事を願います。当日ご協力下さいました皆様、お忙しい中ご参加下さいましたご来場者の皆様心よりお礼申し上げます。有難うございました。

28年度事業の活動、及び街路樹シンポジウム開催前、開催後にマスコミでも何度か取り上げていただきました。

建通新聞 2017年10月31日 火曜日

# 動き出した樹冠拡大方策！ 世界に示せ 美しい都市緑化

### オリパラ実現に、緑地確保した街路樹管理へ

街路樹は、都市の景観向上や歩行者の安全確保に重要な役割を担っており、また、都市の緑化による環境改善や気候変動対策にも大きく貢献しています。特に、都市部の緑地確保は、都市の持続可能な発展に不可欠な要素です。本記事では、美しい都市緑化を実現するための街路樹管理の重要性と、そのための具体的な方策について紹介します。

### 樹冠拡大の取り組み

「樹冠拡大の取り組み」は、都市部の緑地確保と景観向上を目的として、街路樹の樹冠を拡大させる取り組みです。これは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

### 見守りと共通の価値を持つことが必要

街路樹の樹冠を拡大させるためには、市民の見守りと共通の価値を持つことが必要です。これは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

### 樹冠拡大と街路樹剪定

街路樹の樹冠を拡大させるためには、街路樹の剪定も重要な要素です。これは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

### 街路樹剪定の取り組み

街路樹の剪定の取り組みは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

建通新聞東京版 2017年11月9日

建通新聞神奈川版 2017年11月8日

## 都市防災美化協会 抑制から「樹冠拡大」へ

抑制から「樹冠拡大」へ

都市防災美化協会（中島宏理理事長）は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの実施、街路樹の抑制から「樹冠拡大」へという方針を打ち出した。これは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

抑制から「樹冠拡大」へという方針を打ち出したのは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

抑制から「樹冠拡大」へという方針を打ち出したのは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

抑制から「樹冠拡大」へという方針を打ち出したのは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

## 都市防災美化協会がシンポ 街路樹管理を刷新 抑制から「樹冠拡大」へ

抑制から「樹冠拡大」へ

都市防災美化協会（中島宏理理事長）は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの実施、街路樹の抑制から「樹冠拡大」へという方針を打ち出した。これは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

抑制から「樹冠拡大」へという方針を打ち出したのは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

抑制から「樹冠拡大」へという方針を打ち出したのは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。

抑制から「樹冠拡大」へという方針を打ち出したのは、都市部の緑化を促進し、都市の持続可能な発展に貢献するための重要な方策です。